

くらし

平和祈願慰霊祭

平和を祈願し、戦没者の霊を慰める平和祈願慰霊祭を行います。

日10月10日(金)午後2時30分〜3時30分
場中央公民館
申不要、直接会場へ



平和の祈りを込めて

教育

平成27年度教科用図書採択

去る8月4日に開催した教育委員会で、平成27年度に使用する市立小学校および小中学校特別支援学級の教科用

図書採択を行いました。使用する教科用図書の一覧は、情報コーナー(本庁舎1階)又は市ホームページの「広報ナビ」からご覧ください。

官公署

災害時に支援や配慮が必要となるかたを守りましょう

昨年、東京消防庁管内では3千270件の住宅火災が発生し、亡くなった76名のうち53名が65歳以上の高齢者でした。

○災害時に支援等が必要なたへの対応を防火防災訓練に取り入れましょう。また、支援等が必要なたの名簿を作成し、安否確認や車椅子の

取り入れ、いざというときに実行できるように備えましょう。

看護職員の現場復帰を応援します

離職した看護職員の復職を支援するための講座や実習、就職相談を行います。

日10月27日(月)〜11月5日(水)
場公益財団法人多摩北部医療センター(青葉町1-7-1)

★研修は1日、5日・7日間のプログラムがあります。詳細はお問い合わせください。

申10月15日(水)までに同センター看護部・田中(☎396・3811、☎396・3076)へ

秋の全国交通安全運動

9月21日(日)〜30日(火)
「やさしさが走る!」の街の道路
全国交通安全運動は、広く国民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけ、

子どもと高齢者の交通事故防止

通学中の児童が死傷する交通事故があとを絶たず、依然として道路で子どもが危険にさらされています。交通事故死者数の半数近くを高齢者が占めるなど、子どもと高齢者

を交通事故から守ることが強く求められています。

運動の重点

○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
○反射材用品等の着用の推進
○全ての座席のシートベルト着用と、チャイルドシートの正しい着用の徹底
○飲酒運転の根絶
○二輪車の交通事故防止(地域重点)

この運動を期に交通安全の意識を向上させ、全てのかたが、やさしさと思いやりの気持ちを持ち、交通事故防止を心がけましょう。

公開講座 「青少年のゆるる心」 子どもから大人へ

日10月4日(土)午後1時〜2時(午後0時30分受付開始)
場多摩おおば病院(青葉町2-27-1)

人先着50名
講野瀬孝彦氏(同病院副院長)
申不要、直接会場へ

介護職員初任者研修受講者募集

在宅・施設を問わず、介護職として働くうえで基本となる知識・技術を学びます。
日10月5日〜27年3月15日の日曜日(全15回)
場特別養護老人ホーム「第二万寿園」(富士見町)ほか

人先着20名
費4万5千740円(受講料等)

申9月17日(水)〜10月3日(金)
※申込み方法等詳細は、特定非営利活動法人ごとの会のホームページをご覧ください。
問同会(☎042・359・5355)

手話講習会受講者募集

中途失聴者・難聴者とその家族クラス
日10月10日〜11月28日の毎週金曜日、午前10時〜正午(全8回)

場いきいきプラザ3階ほか
人市内在住・在勤の聞こえに不便を感じているかたとその家族、抽選20名(初心者歓迎)
費1千500円(受講料)

申9月25日(必着)
通訳養成クラス
日10月21日〜27年3月17日の年末年始を除く毎週火曜日、午後7時〜9時(全20回)

場市民センター2階
人市内在住・在勤で通訳応用クラスを修了したかた又は同程度の技術のかた、20名
費2千500円(受講料)

試験10月7日(火)午後7時から
社会福祉協議会実施
申9月30日(必着)
申込み先往復はがきに必要事項を明記し、社会福祉協議会手話担当(〒189-0022野口町1-25-15地域福祉センター内)

問同協議会(☎394・6333、☎393・0411)

ウォーキング教室 参加者募集

健康づくりに効果的な歩き方を指導します。
日9月21日(日)午後1時30分〜2時30分(雨天中止)

場都立東村山中央公園(富士見町5-4-67)
人18歳以上のかた、先着10名
費300円
講三田 央氏(スポーツコーディネーター)

主催申問都立東村山中央公園(☎392・7322)
※受付は午前9時〜午後5時
第41回市民文化祭作品募集
日11月9日(日)
※午後1時〜5時に応募作品の歌評を行います。

ユニカール体験教室 参加者募集

日10月3日〜17日の毎週金曜日、午後0時30分〜2時(全3回)
場スポーツセンター
人市内在住・在勤・在学のかた、先着25名
講ユニカール協会

申9月17日(水)午前9時から電話又は直接公益社団法人東村山市体育協会(☎397・1212)へ

問ユニカール協会・種市(☎342・9282)

日9月20日(土)午前10時〜午後3時(雨天決行)
市制施行50周年記念「第34回コロニー祭」

ネット依存症
夜7時過ぎの東京駅を出発する満員電車。乗客の6〜7割が携帯電話をのぞき込んでいます。「ネット社会」と言われますが、この光景を異様と思うのはネット文化に乗り遅れている自分のひがみでしょうか。
阪神大震災のあった1995年前後から日本でも携帯電話とインターネットが普及し始め、それから約20年が経過し、個々人で濃淡の差はあれ、我々は日常的にメールをしたり、インターネットでニュースや天気予報を見たり、レストランや映画館を探すために利用しています。一方で、インターネットをめぐる問題もいくつか出てきています。
昨年8月、厚生労働省の研究班による調査で中学・高校生の「ネット依存」が疑われる「病的な使用」が約50万人、約8%に及ぶことが報道

東村山市医師会